

実践的な能力を備えた  
臨床心理士を育てる教育プロジェクト



精神医学講座教授  
山田尚登

社会人の学び直しニーズに対応する教育推進プログラムとして、精神医学講座の山田尚登教授らが、文部科学省に企画提案を行った「再就職及びキャリアアップを可能にするための新しい実践的な臨床心理士研修コース」が採択されました。その概要、目的などについて山田教授にうかがいました。

# 実践的な能力を備えた 臨床心理士を育てる教育プロジェクト

## 再就職及びキャリアアップを可能にするための 新しい実践的な臨床心理士研修コース

精神医学講座教授  
山田尚登

### 就業に役立つ知識やスキルの修得をめざして

平成19年度から始まった文部科学省が募集・委託する「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に、滋賀医科大学精神医学講座の「再就職及びキャリアアップを可能にするための新しい実践的な臨床心理士研修コース」が採択されました。大学や大学院で心理学を専攻する学生は多いものの、卒業後に学んだ知識を生かせる職場に就業するケースは少なく、大学で修得した知識と実際の職業とのミスマッチが時として生じることが早期離職につながっています。

一方、精神科や心療内科では患者数の著しい増加がみられ、学校や企業でも心の問題を抱える人が増えていることから、カウンセリングや悩みの相談業務などが行える臨床心理士の社会的なニーズが高まっています。

しかし、心理学を単に学んだだけでは、臨床の場で複雑な問題に対応する知識や技能は不十分であり、たとえ臨床心理士のような専門的な知識を生かせる職を得ても、実務経験が乏しいために不安を抱く人も少なくありません。

本学の臨床心理士研修コースは、就業に役立つ臨床心理学の

まず、さまざまな精神疾患や小児疾患、心理学の基礎的な知識を修得するために、医学部3年、4年度の学部教育で行われている精神医学、小児科学、内科学、臨床心理学などの講義を受講するほか、研修の各時期に合わせて必要な精神医学的、心理学的知識についての講義を受けます。さらに、附属病院内で実際に行われている検査や、心理療法、相談業務を見学・体験します。心理検査の学習では、本学の教育担当臨床心理士（4名）が指導にあたり、心理検査に同席したり、受講者同士でロールプレイを行って、適正に検査が行えることを確認した後、教育担当者の指導下に実際の患者に心理検査を施行します。

心理療法・相談業務については、担当医師（5名）と臨床心理士の下、入院患者や外来患者を対象とした個別的な心理療法やカウンセリングを学習します。医師・臨床心理士に同席して実際の心理療法や心理教育、生活技能訓練を見学したり、受講者同士でロールプレイを行った後、医師・臨床心理士の指導下で実際の患者に施行します。

さらに、コースの最終段階には、滋賀県内の民間精神病院で見学・実習を行います。

### 臨床心理士の質の向上にも期待が高まる

1日4時間の学習を週2回、64日間のプログラムが予定されています。精神医学講座教授が研修プログラム全体のマネージメント業務を行って、学内、学外機関との連携を図り、受講者の達成度を把握します。

担当教員は実務試験を行って結果を受講者にフィードバックすることにより、不足している知識や技能を補い、目標とする能力がしっかりと身につくようにします。

プログラムを修了した受講者について、本学の教育研究評議会によって十分な知識・技能を有すると評価された場合、学長による修了書が授与されます。

研修修了時には、臨床心理士や心理療法士としてのプラクティカルな能力が身につくとき、病院、教育施設、児童施設、企業な

知識やスキルを修得するための教育プログラムを提供するというもの。実践的な知識や技法を身につけた臨床心理士を育成することで、高まる社会的ニーズに応えるだけでなく、若年早期離職者やニート、フリーター等の就業対策にもつながることが期待できます。

### 実習を盛り込んだより実践的な学習プログラム

受講者は、病院や学校、児童相談所、企業などで、実際に臨床心理士として必要とされる幅広い能力を修得することをめざして、心理検査や心理療法（カウンセリング、精神療法）、心理教育、生活技能訓練、心の相談業務などを自ら施行し、評価する能力を身につけることを具体的な目標とします。

特に、統合失調症、うつ病、神経症、認知症、物質依存症、自閉症、精神遅滞、不登校、摂食障害などを有する患者の心理検査、カウンセリングなどの精神療法、患者および家族を含めた心理教育、生活技能訓練、デイ・ナイトケアなどの理論と技法を学習し、病院や教育施設、児童施設、企業などで、すぐに活躍できる人材の養成をめざします。

ど幅広い分野での就業という再チャレンジの機会が増加します。

滋賀医科大学精神医学講座では、これまででも心理学を専攻した学生を受け入れ、臨床心理士として教育し、他の医療機関や大学に供給したり、県内の教育施設などに勤務する臨床心理士の教育に取り組んできた実績があります。

平成19年度は、10月から3名の受講生を受け入れ、研修をスタートしました。「今まで経験できなかった実践的な知識や経験を身につけることができる」「臨床心理士として自信が持てるようになった」と受講生からも高い評価を受けています。

平成20年度、21年度は教育プログラムの学習時間を更に増加させ実施する予定です。臨床心理士の質の向上を図る上でも、有効な取り組みになるのではないかと学外からも期待が集まっています。

### 社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム 再就職及びキャリアアップを可能にするための新しい実践的な 臨床心理士研修コース

(平成19年度スケジュール)

